

第31号

今回のテーマ



「環境問題からみた SDGs」

本号の内容

Page.1~2 SDGsの概要

Page.3~4 SDGsが解決を目指す課題の”いま”

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エス ディー ジーズ

SDGs

Sustainable

持続可能な

Development

開発

Goals

目標

SDGsは、すべての時代・すべての人のための世界の目標です。

★ SDGsが策定された背景

SDGsの前身「MDGs」

2000年になり、次の21世紀の国際社会の目標として採択された宣言をもとに、MDGs（ミレニアム開発目標）という目標がつけられました。

この目標は、極度の貧困と飢餓の撲滅、ジェンダー平等推進と女性の地位向上などの「人間開発」を主眼に置いた目標となっており、2001～2015年の15年間の間に目標を実現することを目指しました。

※人間開発 人間が自らの意思にもとづき自分の人生の選択と機会の幅を拡大させることを目的に行う開発

SDGsの策定

2015年になり、MDGsの各目標について、一定の成果はあったものの、課題を残す結果となりました。

MDGsを踏まえた2016年からの目標の策定が必要になり、人間の中心とする「持続可能な開発」を重視したSDGsが策定されました。

★SDGsが重視する3ポイント

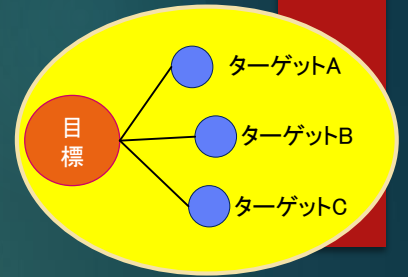
- ・貧困の根絶（経済・社会開発）と持続可能な社会（環境保全）の両立
- ・不平等（格差）の是正
- ・開発途上国だけでなく、すべての国に適応

SDGsとは何か？

もう少し詳しくみてみましょう！

★17の目標と169のターゲット

SDGs（持続可能な開発目標）は、17個の「目標」が設定されています。各目標には課題解決のための「ターゲット」が設けられ、全目標で合計169個ものターゲットがあります。



★持続可能な開発と環境問題

持続可能な開発とは？

SDGsでいう「持続可能な開発」とは、**将来の世代のニーズを満たす能力を損なわずに、現在のニーズも満たす開発のこと**です。

私たちのすむ社会は、経済・環境・社会の様々な関係で成り立っています。そのため一方を優先するあまり、もう一方をおろそかにするとたちまちバランスが崩れてしまいます。

SDGsの5要素

SDGsの各目標は、「地球」、「人間」、「豊かさ」、「平和」、「パートナーシップ」の5つの要素のうちの1つ以上とかかわりを持つように目標設定がされています。

SDGsの目標はそれぞれの目標がお互いに関連し合っています。共通の要素（地球、人間、豊かさ、平和、パートナーシップ）にもとづいて、取りこぼしがないように作られており、「誰一人取り残さない」目標となっています。

環境問題とSDGsの関わり

SDGsの目指す「持続可能な」世界では、人による地球環境の保全と利用、消費と再生がバランスを保って両立し、人と自然の共存が実現できた世界です。

これは、前身のMDGs（ミレニアム開発目標）のように人間開発の推進にだけとらわれるのではなく、さまざまな生き物が共存・発展していくための目標ともとらえることができます。

地球環境は、あらゆる生命や暮らしの基盤となるものであり、その基盤を大切にしたいSDGsの様々な開発を行っていくためには、環境問題を重視して取り組んでいく姿勢が必要不可欠です。



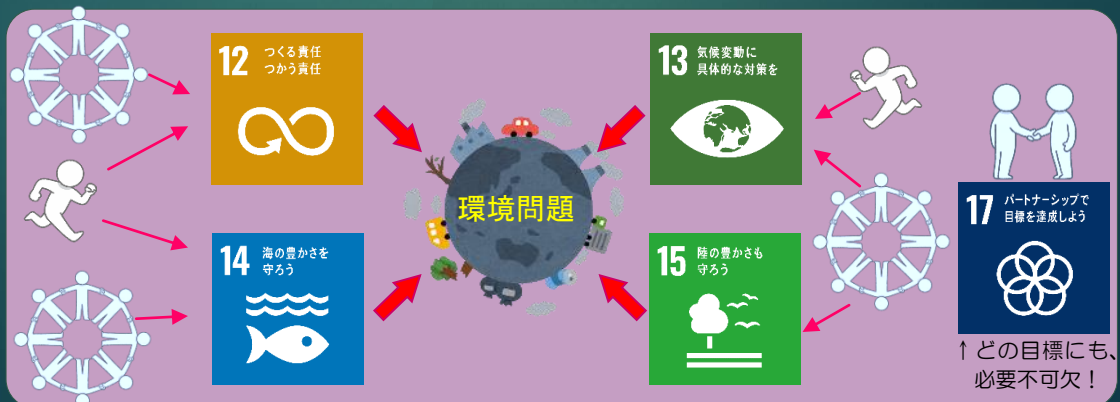
★SDGsへの取り組み方

SDGsには各目標の達成のため、それぞれ複数のターゲットが設定されていますが、達成のための方法については示されていません。

それは、それぞれの人や団体で、目標達成のために自分たちに何ができるのかを考え、自由なアイデアを出し合いながら協力して取り組んでもらうためです。

まずは、SDGsの各目標における課題の現状を知るところからスタートし、目標達成のためにそれぞれに何ができるのかを考えていきましょう。

次のページからは、環境問題とも関わりの深い目標とその課題の一部を紹介していきます。



SDGsの達成のため

課題の現状を知る

14 海の豊かさを
守ろう



SDGs
Goal.14
海の豊かさを守ろう

海洋汚染の原因を知っていますか？



(参考) 政府広報オンライン

海に流れる海洋ごみは、その後の行方で3種類に分けられます。

1 漂流ごみ

海面・海中を浮遊するごみ。海岸に漂着したり海底に沈むごみもありますが、漂流し続けているごみもある。

☞ 太平洋ごみベルト

アメリカのカリフォルニアとハワイの間の海域には漂流ごみが多く集まる地域があります。

ごみの集まる海域の面積は、日本の面積の4倍を超えるとわれています。

2 漂着ごみ

海岸にうちあげられたごみ。

2018年に全国の自治体では、約3万トンのごみが回収されていますが、これは海岸漂着物のごく限られた量です。

3 海底ごみ

海底に沈んでしまったごみで、環境省の調査ではプラスチック製の漁具やレジ袋、プラスチック片が多く確認されています。

☆汚染の原因となるごみは、**陸**からは生活ごみなどが川から流れ出し、**海**からは漁業のごみ・海外からのごみが流れてきます。

海洋ごみの7割は陸で発生したごみといわれています。

マイバッグの持参やプラスチック製のフォーク・ストロー等の利用抑制、海・川・山等でのレジャーの際のごみの持ち帰りなど小さなことからでも取り組んでいくことが大切です。

15 陸の豊かさも
守ろう



SDGs
Goal.15
陸の豊かさも守ろう

陸の生物多様性

地球上の陸地にはさまざまな種類の生物が共存しています。

日本の陸地に注目すると、国土の3分の2を森林が占めています。

森林のはたらき

森林は、二酸化炭素を吸収したり、急激な気温の変化をやわらげたり、雨水を土地に蓄えたりする機能を持っています。

それらのはたらきによって、多くの生物が食料や棲みかを得て暮らしています。

特に、人間にとっては、木材を得たり、土砂崩れや洪水等の災害から守ってくれるなど多様なはたらきを持っています。



(参考) 政府広報オンライン

☞ 木育（もくいく）についてご存知ですか？

森林のはたらきによる生物多様性の維持のためには、われわれ人間も森林のはたらき・木を利用することの大切さを体感したり学ぶことが重要です。

木育とは、子どもから大人まで、木に触れたり、木で何かを作ったり、木について知ること、木を使うことの大切さ、環境を守ることの大切さなどを理解することを目的としています。



大切さを実感！

木のおもちゃで遊んだり、木について学んだりして…

12 つくる責任
つかう責任



SDGs
Goal.12
つくる責任 つかう責任

食品ロスの問題

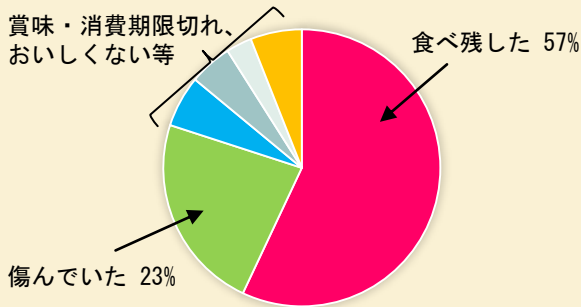
世界では、食糧廃棄量が年間約13億トン、日本の食品ロスは年間600万トン以上が発生していると推計されています。



人のため生産
された食料の 1/3 一人あたり食品ロス 50kg

食品ロスが発生すると、ごみとして廃棄されるため、ごみ処理コストの増加のほか、処理の際CO2を排出します。

まだ食べられるのに捨てた理由



(参考) 消費者庁啓発用ポスター/捨ててしまう理由

日本の食品自給率は、カロリーベースで38%と大半を外国からの輸入に頼っています。

食品ロスによってごみ処理コストだけでなく、輸送コストの無駄による温室効果ガスの増加など様々な面から環境への負荷を与えることにつながります。

ちなみに...

食品ロスのほか、ごみとして捨てられるものの中には、本来資源として利用できるはずだったものも含まれていることがあります。

ごみを捨てる際は分別を徹底し、資源の循環を促進しましょう。

※市の分別の手引きを改訂しました ⇨



13 気候変動に
具体的な対策を



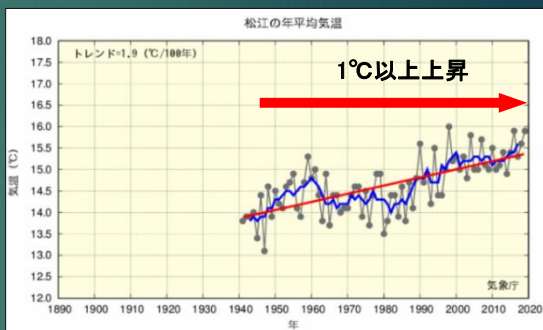
SDGs
Goal.13
気候変動に
具体的な対策を

身近に起きる異常気象

近年、世界各地で異常気象が発生しています。昨年は、世界各地の異常高温やヨーロッパの熱波、異常多雨・少雨など極端な気象が多く確認されています。

日本でも、九州南部豪雨や台風により甚大な被害が発生しています。

山陰地域では、昨年の夏は35°Cを超える猛暑日を記録しており、身近な地域でも異常気象が発生するようになっています。



(参考) 松江地方気象台ホームページ

左のグラフは、松江市の年平均の気温の推移を表しています。1940年の観測時には、約14°Cであった気温が、近年では15°Cを超えています。60年の間に松江市では、平均気温が1°C以上上昇しており近年多発する世界各地での異常気象が様々な悪影響を与えることが心配されています。

バングラディッシュの洪水の後



Photo credit: aki soeda

リンゴの日焼け



写真提供: 農研機構 果樹研究所 杉浦俊彦

気温の上昇については、IPCC (国連気候変動に関する政府間パネル) が、世界では産業革命前から約1°C上昇しており、現状のまま気温上昇が続くと2030~2052年の間に1.5°Cの上昇に達する見込みという報告があります。

気候変動を最小限に抑える「緩和」と避けられない異常気象等に対応する「適応」への取り組みが必要不可欠です。

発行/問い合わせ先

安来市環境政策課

☎ 0854-23-3098

4

17 パートナシップで
目標を達成しよう



各目標の達成のためには、他にも多くの課題解決が必要であり、複数の目標が一課題の解決に関連している場合もあります。最後の目標Goal.17は「パートナーシップで目標を達成しよう」です。

SDGsの達成のためには、多様な分野の様々な人・団体と協力して課題に取り組んでいくことが必要不可欠です。